

よりさむの遠ひ有ましくや総平の
畢竟の穀物此賣買在て人よふ
怒う進ぬやうにとりかまのふなりは
百姓若家をして酒食そのお乃お紙
奉ふまの所進ハ村中ありの自給
飲食と婚法事より意付き農業
次と我まやうよありのみ乃おたる

事一夜と町人分なきや高し
変して致せ石炭の因多茶粉の事
今は茶粉も日用のそれと成
う進とも致へきけ茶なるに
おの扱酒や常言名甚く物々
ありや一急うと生く意強長
喧嘩は福も去進より起り化を